

# みちにわ2024における空間デザイン

**代表者** 芸術工学研究科 教授 大野暁彦

**連携・協力者** 名古屋市緑政土木局

**ポイント** 学生を中心とした提案により道路の未来像を提示

## 1. 概要

芸術工学研究科の教員および学生が、令和6年10月から11月の期間にて中区錦二丁目 長島町通（伝馬町通から本重町通までの区間）で実施された社会実験の空間デザインを行いました。

## 2. 活動内容

憩いや賑わいのあるウォークアブルな道路空間の創出、生物多様性に配慮した緑化などグリーンインフラの導入を目指して、歩道を拡幅し、緑化等を施した滞在空間を設置する社会実験において、下記の空間デザインおよび一部什器の制作および設置を行いました。

- ・ベンチやウッドデッキ、人工芝等の設置位置、形状をデザインし憩いや賑わい空間の創出を図りました。
- ・地域の植栽を使った植物プランター等のグリーンインフラ施設のデザインを行い、生物多様性緑化や雨水流出抑制を図りました。

## 3. 成果

数多くの人に利用いただき、みどりあふれる道路空間を体験いただきました。また、グリーンインフラを身近に感じていただく機会を創出しました。



実際のデザイン